

開発課題 1-2 (小目標) 産業基盤の整備	【現状と課題】			【開発課題への対応方針】							支援額 (億円)	備考
	協力プログラム名	協力プログラム概要	案件名	スキーム	2013 年度 以前	2014 年度	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度		
	産業振興プログラム	民間セクター振興、雇用促進、税制収入向上、貧困削減など多面的なインパクトを有し、経済成長を迅速に押し上げる効果を有する鉱業開発への支援を行う。また、農民の商品生産への参入を促すOVOP活動の普及を通して、産業育成の基盤づくりを支援する。	鉱物分野能力向上プロジェクト 一村一品グループ支援に向けた一村一品運動実施能力強化プロジェクト (OVOPフェーズ2) 「デザイン」「品質管理」JOCV派遣	技プロ 技プロ JOCV							3.30	OVOPとの連携
	経済基盤インフラ整備プログラム	経済成長に資する国際回廊や主要幹線における円滑な物流の促進、実現可能な電力開発につながる計画の策定能力向上、環境に配慮した再生可能エネルギーを活用した電力開発、及び自然環境との調和に配慮した開発計画を人材育成やソフト面の改善とともに支援する。	都市計画・開発管理にかかる人材強化プロジェクト 航空管制人材育成プロジェクト 電力開発計画アドバイザー 第三次ブランタイヤ市道路網整備計画 テザニ水力発電所増設計画 リロングウェカムズ国際空港ターミナル改修計画 「コンピュータ技術」「PCインストラクター」「土木」JOCV派遣 インフラ・電力分野等の課題別研修	技プロ 技プロ 個別専門家 無償 無償 協準 JOCV 課題別研修他							1.90 2.57 6.02	

	協力プログラム名	協力プログラム概要	案件名	スキーム							支援額 (億円)	備考		
					2013 年度 以前	2014 年度	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度				
その他	ガバナンス	公共投資計画（PSIP）プロセスがマラウイ政府の開発・予算システムに適切に組み込まれ、開発リソースが効率的に活用・強化されることを目指す。	公共投資計画能力向上プロジェクト（PSIPフェーズ2）	技プロ							2.10			
	保健	マラウイでは、乳幼児死亡率、妊産婦死亡率、HIVやマラリアなど感染症罹患率がアフリカ地域の中でも特に高く関連するミレニアム開発目標の達成は大きな課題である。また、保健人材の不足等、保健システムそのものも非常に脆弱でありこうした課題に十分対応できていない。かかる現状の下、日本の比較優位がある分野、政策・制度レベルでのインパクトが期待される分野、ボランティア事業との連携が期待される分野に焦点を絞り、他開発パートナーによるセクター財政支援と連携しつつ、プレゼンスの高い効果的な支援を行う。	病院運営改善に向けた5S-KAIZEN-TQM普及	個別専門家										
			「公衆衛生」「エイズ対策」「栄養士」「薬剤師」「行政サービス」「コミュニティ開発」「理学療法士」JOCV派遣	JOCV										5S専門家との連携
			保健医療分野等の課題別研修	課題別研修他										
			子どもにやさしい地域保健プロジェクト	草の根技協										
			リロングウェ県における村落内総合保険医療支援モデル構築（第2フェーズ）	日本NGO								0.36		
			ンチシ県母子保健関連施設整備事業（第2フェーズ）	日本NGO								0.54		
			保健分野の草の根・人間の安全保障無償（2件）	草の根無償										
	その他個別の案件		「青少年活動」「言語聴覚士」「放送技術・整備」「柔道」JOCV派遣	JOCV										
			草の根・人間の安全保障無償資金協力	草の根無償										

【凡例】 「協準」（＝全ての協力準備調査）、「詳細設計」（＝詳細設計）、「技プロ」（＝技術協力プロジェクト）、「開発計画」（＝開発計画調査型技術協力）、「個別専門家」、「個別機材」、「国別研修」、「課題別研修他」（＝課題別研修及び青年研修）、「JOCV」（＝青年海外協力隊）、「SV」（＝シニア海外ボランティア）、「第三国専門家」、「第三国研修」、「現地国内研修」、「科学技術」（＝科学技術協力（技プロ型及び個別専門家型））、「草の根技協」（＝草の根技術協力）、「〇〇省技協」（＝外務省・JICA以外の省庁及び独立行政法人等が実施している技術協力）、「民間提案型技協」（＝開発途上国の社会・経済開発のための民間技術普及促進事業）、「無償」（＝以下に特記するサブスキームを除く全ての無償資金協力）、「ノンプロ」（＝ノン・プロジェクト無償及び中小企業ノン・プロジェクト無償資金協力）、「草の根無償」（＝草の根・人間の安全保障無償）、「日本NGO」（＝日本NGO連携無償）、「一般文化」（＝一般文化無償）、「草の根文化」（＝草の根文化無償）、「有償」（＝円借款）、「マルチ」（＝国際機関等を通じた多国間協カスキーム）、「中小企業支援」（＝中小企業製品・技術とODAのマッチング事業「ニーズ調査」、「案件化調査」および「普及・実証事業」、かつ中小企業連携促進基礎調査）、「実線「———」（＝実施期間）、「破線「- - -」（＝実施予定期間）

※この凡例にない略語を使用する場合は凡例に当概略語を記載したうえで使用する。